

自動車整備職種における外国人技能実習に関する訪問調査報告について

1. 調査対象

① 監理団体

技能実習法に基づく許可の申請を行っており、かつ、自動車整備職種の外国人技能実習生の受入れを行っている監理団体のうち、当該外国人技能実習生の受入人数が多い団体から優先的に選定。

② 実習実施者（自動車整備工場）

①の監理団体と契約している実習実施者。

※ 現地調査の対象とする実習実施者は、認証工場（道路運送車両法第78条にある地方運輸局長から認証を受けた事業者が経営する事業場）又は指定工場（道路運送車両法第94条の2にある地方運輸局長から指定を受けた事業者が経営する事業場）とし、可能な限り、自動車ディーラー、専業整備工場、兼業整備工場を網羅する。

③ 技能実習生

②の実習実施者の元で従事している技能実習生。

2. 現地調査先候補

電話調査の結果から、1. の条件を満たす次に示す5つの監理団体を候補とした。

	団体名 (拠点)	拠点	許可 区分	実習実施者 (事業形態)	主な実習 実施地域	技能実 習生数	受入国
1	監理団体A	東京	一般	指定 (カー用品店)	東京 他	64名	フィリピン
2	監理団体B	東京	一般	指定 (ディーラー)	広島 他	61名	フィリピン
3	監理団体C	東京	一般	指定 (専業)	大阪 他	22名	中国、ミャンマー、 フィリピン、ベトナム
4	監理団体D	東京	一般	指定・認証 (兼業)	長野	13名	中国、カンボジア、 フィリピン、ベトナム
5	監理団体E	愛媛	一般	指定 (兼業)	愛媛	8名	フィリピン、ベトナム

3. 調査の実施

① 監理団体

2. で示した監理団体に対してアポイントをとり、訪問ヒアリング調査を実施した。実施日は次のとおりである。

	監理団体名	調査実施日
1	監理団体A	平成30年2月6日(火)
2	監理団体B	平成30年2月7日(水)
3	監理団体C	平成30年2月8日(木)
4	監理団体D	平成30年2月15日(木)
5	監理団体E	平成30年2月9日(金)

② 実習実施者(自動車整備工場)

①の監理団体と契約している実習実施者の中から、1社を選び、訪問ヒアリング調査を実施した。対象となる実習実施者の従事場所と実施日は次のとおりである。

	監理団体名	実習実施者の従事場所	調査実施日
1	監理団体A	東京都	平成30年3月2日(金)
2	監理団体B	広島県	平成30年2月26日(月)
3	監理団体C	大阪府	平成30年3月5日(月)
4	監理団体D	長野県	平成30年3月8日(木)
5	監理団体E	愛媛県	平成30年2月9日(金)

③ 技能実習生

②の実習実施者の元で従事している技能実習生に対し、訪問ヒアリング調査を実施した。実習実施者の属性と実施日は次のとおりである。

	監理団体名 (拠点)	実習実施者の属性	面談人数	調査実施日
1	監理団体A	・フィリピン人 ・1年目	2名	平成30年3月2日(金)
2	監理団体B	・フィリピン人 ・2~3年目	2年目: 1名 3年目※: 1名	平成30年2月26日(月)
3	監理団体C	・ベトナム人 ・1年目	3名	平成30年3月5日(月)
4	監理団体D	・ベトナム人 ・2年目	1名	平成30年3月8日(木)
5	監理団体E	・フィリピン人 ・1年目	2名	平成30年2月9日(金)

※ 自動車整備職種以外(塗装)の技能実習生だが、自動車整備工場に従事していることから、ガイドライン策定の参考とするため、ヒアリング調査を実施。

4. 調査結果（概要）

① 監理団体

監理団体への訪問ヒアリングの結果は次のとおりである。

a) 受入れに際して苦慮していること

- ・日本語を初め、日本の文化・ルールを理解させることが難しい。
- ・現地で自動車整備の経験が乏しいと、現場での技能実習が円滑に進まない可能性が高くなる。
- ・年末調整や税金など、お金に関することは細かく知りたがり、分かりやすく説明し、理解してもらう必要がある。
- ・作成する書類の量が多く、事務処理に割かれる時間が多くなる。
- ・技能実習評価試験の日程調整に苦勞する。

b) 受入れに際して配慮していること

- ・実習実施者に対して、国民性や生活習慣等の説明を行い、特に外国人が傷つくこと、嫌がることについてはやらないように注意を呼び掛ける。
- ・日本語能力の強化を支援している。（日本語能力試験合格者に報奨金を出すなど）
- ・技能実習評価試験の対策を支援している。（英語を併記したテキストの配布等）
- ・24時間体制で相談等を受け付け、対応している。（SNS等の活用を含む）
- ・外国人技能実習生のセレクションを行う際に、ミスマッチが起きないように工夫している。（実習実施者の概要書を現地の面接時に提示等）

c) 実習実施者選定の注意点

- ・法令順守の状況を確認する。（労基法違反等）
- ・経営状況が悪化していないか、確認する。（売上等）
- ・外国人技能実習制度を理解しているか、確認する。
- ・受入れ体制が充実しているか、確認する。
- ・外国人に対する偏見がないか、確認する。
- ・作業環境、生活環境がよいか、確認する。

d) 入国前の講習

- ・講習前の面接には、可能な限り実習実施者も同行させている。
- ・期間は概ね3か月～6か月で実施されている。
- ・講習内容は日本語教育が中心で、一部の送り出し機関では技術的な講習も実施している。

e) 入国後の講習

- ・期間は概ね1か月で実施されている。
- ・研修内容は日本語教育が中心で、3日間程度の自動車整備の研修を実施する機関もある。
- ・警察・消防からの生活指導を実施している。

f) 実習実施者とのトラブル

- ・特にトラブルはない
- ・自動車整備職種では事例はないが、法令違反が発覚し、改善要求に応じない場合は、打ち切りで対応することになる。

g) 技能実習生からの相談（技能実習）

- ・日本人には冗談のつもりでも、技能実習生にとっては、恐怖に感じたり、屈辱だったりすることがある。
- ・他の技能実習生から技能実習の進捗状況が遅れている場合、自分も早く新しい技術を学びたいという相談がある。
- ・残業時間が少ない場合に、もっと残業したいという相談がある。
- ・最低賃金の違いから、他の技能実習生と給料に差が出ることもあり、不満を感じることもある。

h) 技能実習生からの相談（悩み事等）

- ・ホームシックにかかってしまい、一時的に帰国したいという相談があった。
- ・家族や監理団体とのコミュニケーションに通信環境は不可欠であり、Wi-Fiが繋がらない等の不備があると、相談がくる。
- ・休日に出かける場所がないという相談があった。
- ・騒音に対する悩みやごみの分別等で相談があった。
- ・自国と欠勤や遅刻に関する認識の違いがあり、会社の就業規則になじめないという相談があった。
- ・寒さが苦手な技能実習生が多く、特に北海道や東北などの寒さはきついようである。

i) 実習生の様子の確認

- ・1～2ヶ月に1回は定期監査を実施している。
- ・特に1号の実習生がいる場合は、頻度を増やして1か月に1回は訪問するようにしている。
- ・指導員、および実習生全員と30分～1時間程度の面談を行い、必要に応じて実習実施者へフィードバックを行っている。

j) 実習実施者からの要望

- ・試験の費用が高額という意見がある。
- ・講習や技能実習資料の英語版が欲しい
- ・安全教育資料の母国語版が欲しい
- ・もう少し高度な技能実習生がきてほしい（日本語が上手な人・大卒等）

k) ガイドラインに盛り込んでほしい内容

- ・技能実習実施計画の内容が時代遅れにならないようにしてほしい
- ・基準を設定してしまうと、教えることが限定されることから柔軟的な内容にほしい

② 実習実施者

実習実施者への訪問ヒアリングの結果は次のとおりである。

a) 受入れに際して苦慮していること

- ・言葉の壁が最も苦勞する。特に日本語特融の微妙なニュアンスは伝われない。監理団体ごとに教育レベルが違うことも気になる。
- ・衣食住の準備は苦勞する。特に住まいは、外国人は受入れないというところもある。
- ・技能実習生の母国に自動車整備、車検制度がないため、理解されにくい
- ・現地でのセレクション期間が短いため、選定が難しい。
- ・町工場では教育のシステムが構築されていないことから、教育の指導書等が必要である。
- ・技能実習生は失敗しても報告してこないことがあり、問題が大きくなってから発覚することがある。

b) 受入れに際して配慮していること

- ・積極的にコミュニケーションをとり、会社のイベントへの参加させている
- ・衣食住の準備・支援している。特に住まいは通勤に便利なところを選んでいる。
- ・日本語や評価試験の勉強会を行う等、サポートを行っている。

c) 技能実習生の主な従事作業（複数選択）

1.原動機の整備作業	3人
2.制動装置の整備作業	3人
3.走行装置に整備作業	3人
4.動力伝達装置の整備作業	2人
5.電気装置の整備作業	3人
6.板金	0人
7.塗装	2人
8.タイヤ交換やオイル交換などの軽作業	5人
9.定期点検	3人
10.受入点検	1人
11.日常点検	3人
12.車検	4人
13.その他	1人

d) 上記作業に従事させている理由

- ・作業量や難易度を考慮して、簡単なものから教えている。
- ・車検整備は基本的にできるようになることを目指している。

e) 技能実習生の日常会話の理解度

- ・漢字の読み書きが最も難しいとの意見が多い。
- ・聞き取ることはできるが、自ら話すときに単語が出てこないことが多い。
- ・個人差はあるが、概ね2～3か月でかなり上達する
- ・通じないときはジェスチャーなどで伝えている。

f) 技能実習生の自動車整備（専門用語）の理解度

- ・日常会話より自動車整備の専門用語のほうが、理解度が早く、個人差はあるものの、30%～70%くらいは理解している。
- ・微妙なニュアンス（「ちょっと」や「かなり」など）や略称などは通じないことが多い。

g) 監理団体とのトラブル

- ・特になし

h) 技能実習生からの相談（技能実習）

- ・さびついているボルトの緩め方などを聞かれてことがある。
- ・ベルト・オイルシール・パッキンの交換など、コツがいるものの相談が多い。
- ・試験対策として、練習をさせてほしいという相談がある。

i) 技能実習生からの相談（悩み事等）

- ・もっと仕事がしたい。（休日が多い）
- ・寒さに関すること。
- ・一人の時間が欲しい。

j) 監理団体による技能実習生の様子の確認

- ・よく見てもらっている。

k) 技能実習生から監理団体に寄せられる要望

- ・残業がしたい。
- ・仕事量が多いところに移りたい。
- ・Wi-Fi環境を整えて欲しい

l) 監理団体に求める入国前又は入国後講習の内容

- ・簡単な漢字の学習など日本語教育をもっと充実させてほしい。
- ・車検のときに使う部品の説明をしてほしい。

- ・日本の車検制度や点検が必要な理由を説明してほしい。
- ・日本の気候、風土、服装について説明してほしい。
- ・自動車整備に関する安全・衛生の基礎を教えてほしい。

m) ガイドラインに盛り込んでほしい内容

- ・タイヤ交換の手順書を盛り込んでほしい。
- ・車検時の部品の名前の一覧を掲載してほしい。

③ 技能実習生

技能実習生への訪問ヒアリングの結果は次のとおりである。

a) 技能実習に際して苦慮していること

- ・日本語が難しい。
- ・母国にない工具を使用するため、タイヤ交換やオイル交換も難しい。

b) 技能実習の感想

- ・整備作業は難しく、指導も厳しいと言う意見も多い一方、それでも面白い等の肯定的な意見が多い。
- ・自国に帰って出店（独立）したい。

c) 技能実習評価試験の感想

- ・難易度としては難しいという意見が多い。特に日本語の理解度不足から筆記試験の方が難しいとの意見が多い。
- ・実技については事前に練習をしているため、心配ない。

d) 技能実習生の主な従事作業（複数選択）

1.原動機の整備作業	5人
2.制動装置の整備作業	6人
3.走行装置に整備作業	5人
4.動力伝達装置の整備作業	1人
5.電気装置の整備作業	0人
6.板金	1人
7.塗装	1人
8.タイヤ交換やオイル交換などの軽作業	10人
9.定期点検	6人
10.受入点検	1人
11.日常点検	1人
12.車検	8人
13.その他	2人

e) 理解できない整備作業

- ・診断の画面に表示される内容は、漢字が多いことから理解できない。
- ・以下の作業は、簡単な作業は理解できるが、高度な技術が絡む作業は理解できない。
 - エンジン交換、オーバーホール、クラッチ交換、電気装置、板金

f) やってみたい整備作業

- ・エンジン交換などの重整備
- ・ブレーキパッド交換
- ・バルブ交換
- ・電子系・配線
- ・オーバーホール
- ・クラッチ交換
- ・タイムベルト
- ・ウォーターポンプ
- ・車検
- ・塗装
- ・板金
- ・(整備作業ではないが) お客さんとのコミュニケーション

g) 自動車整備（専門用語）の理解度

- ・概ね半分くらいは理解しているものの、制度や仕組みまでは理解できない。

h) 整備作業を教えてくれる日本人の感想

- ・やさしい、親切、熱心など肯定的な意見が多い。
- ・厳しいが、教え方が分かりやすいという意見も多い。

i) 監理団体に求める入国前後講習

- ・自動車整備の勉強をもっとしてほしい。
- ・漢字・発音等や日本語の勉強をもっと充実させてほしい（資料を渡されての自習が多い）
- ・日本の文化について、詳しく説明してほしい。

j) 日本の習慣になじめない点・悩み事

- ・日本語が難しい。
- ・自国に比べて気候が寒い。

k) 今後來日する実習生へのアドバイス

- ・日本語の勉強はとても大事なので、十分に行うこと。
- ・あいさつや掃除など、マナーに関することはしっかりと守ること。
- ・お客さんの満足が大事であることを認識すること。

l) ガイドラインに盛り込んでほしい内容

- ・各部品や油脂関係の交換の目安時期を掲載してほしい。
- ・いろいろな部品の取付け・取外しの手順書などを掲載してほしい。
- ・教材の英語版/母国語版がほしい。
- ・安全管理の解説を掲載してほしい。
- ・道具の一覧表を掲載してほしい
- ・整備用語を掲載してほしい。